

# 家庭から育てる

学校だけでは限界。地域との連携がとっても大事！

小学校から家庭学習習慣を！

子どもの夢をみんなで叶えたい！

家庭学習はまず家族で応援！

勉強するきっかけ作りを地域みんなで応援！



錦校区では、中学校のテスト期間一週間前に、校区全体で家庭学習に取り組もうと「家庭学習週間」を設けています。

それぞれの立場からメッセージを発信!!

1学期	① 5月6日(金)～5月12日(木)
	② 6月22日(水)～6月30日(木)
2学期	③ 10月6日(水)～10月13日(木)
	④ 11月15日(水)～11月24日(木)
3学期	⑤ 1月18日(水)～1月26日(木)
	⑥ 2月15日(水)～2月23日(木)

# 地域



## 連携をもとに



第一中学校区・学校支援コーディネーター 前田憲一さん

「先生！こんにちは」子どもたちが、元気いっぱい八雲東小学校の図書室(通称「ほうかご村」)にやってきました。

「ホーシ。ウラッちゃん」待ち受けるのは数人の地域ボランティアの方と、第一中学校区・学校支援コーディネーター(※)の前田憲一さん。前田さんは、16年前は、八雲東小学校の校長でした。

「ほうかご村」では、子どもたちが授業終わりに、読書や宿題と、PTAが支援するプリント学習をするために、図書室を開いています。

「余生はこの地域のお世話をしたい。前田さんのこの思いは強く、活動を始めて10年が経ちます。当時、この学校の課題を解決するために、2年間尽力されたといえます。夏休み中の地域の皆さんとの夜回りや、不登校児童の訪問など、苦労した当時の話しをしてくださいました。地域の皆さんの支えがあったから」



錦中学校 小田巧校長

「この取り組みは、だんだん地域に浸透してきており、家ではその期間テレビを消したり家庭内で協力をしていたり。錦校区は9年間を飛び越えた、連携の良さがあります。学校の現状を地域に伝え、地域の中で課題に取り組む協力体制がとても強いです。仲間を大切にできるのもこの地域の特性ですね」



錦小学校 西口哲夫校長

「つながりの深さを生かし、学校・家庭・地域、それぞれの立場同士がパートナーシップとしていろいろな意見を言い合い進めていけたら。地域の組織はできていて、あとはその中で組み直す段階。どの地域よりも手掛かりがあり、方向性が見えています。家庭学習は、小学生から意識させることが大事ですからね」



錦地域コミュニティ協議会 渡辺人司会長

「勉強してしないといけないと感じた時には、大人になってからなんですよね。この取り組みは、勉強するきっかけづくりとして地域も認識ができます。地域としても子どもたちが伸びてくれるのは嬉しいです。1日も早い段階で家庭学習の定着を。地域としてはさまざまな視点からバックアップしますからね」



錦中学校 PTA 中村加代副会長

「この地域で守られ、あたたかい環境の中で育ててもらっています。だからこそ保護者が一番見守っていかないといけない立場だと思っています。ほっとかしにせず、いろいろな面で協力していきたいですね。「家庭学習週間」がきたら「きたよ！きたよ」と言いながら静かにし、家族で応援しています」



錦中学校 寺本毅教頭

「まだまだこれから！ただ手応えは感じています。学校全体で何かをしないといけないという雰囲気づくりはもうできています。子どもたちが、将来描いている夢へのサポートをしてあげたい一心ですよ。そのためには皆さんの協力なしには叶わないものなんですけどね」



その当時のつながりが今の活動につながっています。「先生！教えてください」「ほうかご村」では地域ボランティアの皆さんも呼び名は、先生。

「よくできたね。これは授業で習ったやろ？」子どもたちの勉強に対する姿勢をほほ笑ましく見守ります。

「色々な面で良い子になってほしい」という前田先生の言葉には、勉強以外のことも伝えたいと思いが込められています。「私たちの生きがい」

そう話すのは、二ノ宮一三さん(表紙左)をはじめ、地域ボランティアの皆さん。地域の手助けがあるからこそ、地域全体で育つ子どもたちの成長を実感します。

## 学校支援コーディネーター(※)ってなあに？

地域全体で学校教育を支援する体制づくりとして、学校支援ボランティアの協力のもと、学校側はどのような助けをしてほしいのか。地域の皆さんに、どれだけ協力してもらえるのか。双方の取りまとめ役として、ボランティア活動が円滑に実施されるよう学校支援コーディネーターが校区ごとに配置されています。



守口市教育委員会イメージキャラクター「もりもり」

